

令和4年度 第4回「はばたきプラン21」推進会議 会議録

日 時 令和5年3月16日（木）午後1時～

場 所 台東区生涯学習センター 4階 403・404研修室

出席者 平沢会長、皆川副会長、池谷委員、植武委員、宮地委員、三枝委員、松谷委員、根岸委員、米山委員、牧田委員、宇田川委員、大西委員、小嶋委員、長谷川委員
事務局：事務局（人権・多様性推進課長）、山野井人権・多様性推進担当係長、事務局（男女平等推進プラザ長）、茂戸藤男女平等推進プラザ主事、小野寺男女平等推進プラザ主事

（午後1時00分 開会）

1. 開会
2. 会長あいさつ

平沢会長 定刻ですので、会議を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
初めに、オンラインでの傍聴希望の方が2名いらっしゃいます。傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（異議なし）

平沢会長 ありがとうございます。続きまして、課長から資料確認をお願いします。

事務局（人権・多様性推進課長） 配付資料の確認と本日欠席をされている委員の紹介をさせていただきます。

- 配付資料の確認
- 出席委員の確認

また、本日は、議事録を整えますために、録音させていただきますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

3. 議事

(1) 議事要旨の確定について

平沢会長 事務局から説明をお願いします。

事務局(男女平等推進プラザ長) 今回、議事要旨を、委員の皆様にご確認いただき、皆川副会長から、表現について修正箇所のお申し出がありましたことをご報告いたします。

○前回会議議事要旨の確認

平沢会長 今、机上に配付されておりますのは、修正した議事要旨ということですね。

ご説明のように、もし何かありましたら、本日中にお寄せいただきたいと思います。

(2) 第5次 台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」令和3年度進捗状況に対する評価のまとめ

平沢会長 では、課長から説明をお願いします。

事務局(人権・多様性推進課長) ご説明させていただきます。前回の第3回会議におきまして、1回目の作成案を皆様にお示しさせていただきました。また、各所管からの事業進捗状況の報告に対する、委員の皆様からのご意見も頂戴いたしました。これを受けまして、事務局と、会長、副会長と調整をし直しました評価案を、今回、資料1として皆様にお示ししております。前回配付したのものから変更した部分につきましては、アンダーラインを引いております。変更した主な内容を説明させていただきます。

～第5次台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」令和3年度(2021年度)進捗状況に対する評価(案)変更点について説明～

平沢会長 今ご説明いただいたのは、最終的にこれでよろしいかということをお諮りするための資料というふうにお考え下さると、よろしいかと思います。最終的には委員の皆様方にお諮りをしたいと思いますので。何かご意見ございますか。

(なし)

平沢会長 ありがとうございます。この資料については、ここまでといたします。

事務局(人権・多様性推進課長) 皆様にご了解いただけましたら、この内容でホームページ等にて公表させていただきますので、よろしく願いいたします。

(3) 令和5年度 台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」推進会議について

平沢会長 来年度の件、資料2について、課長から説明をお願いします。

事務局（人権・多様性推進課長） 現在、台東区男女平等行動推進計画はばたきプラン21の第5次計画につきましては、先ほど評価いただいたとおり進めているところでございます。この計画は、令和6年度までの計画ですので、令和7年度に向けて、新たな計画を策定していく必要がございます。そのため、5年度については、計画の策定に際して、区民の皆様のご意見やご要望を計画に反映させるため、台東区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000人を選ばせていただいて、男女平等に関する意識調査を実施する予定でございます。実施の時期は5月の予定で、調査の結果につきましては、9月のはばたきプラン21推進会議でお示しする予定です。

それでは、資料2につきまして、年間の予定をご説明させていただきます。

～令和5年度「はばたきプラン21」推進会議進行予定について説明～

事務局（人権・多様性推進課長） 今回の説明の中で、意識調査のご説明をしましたので、続けて意識調査について、資料3と4も併せてご説明してよろしいでしょうか。

それでは、資料3及び4についてご説明します。男女平等に関する台東区民意識調査については、現在、質問の項目を検討しているところでございます。資料3は、5年前に行った、前回の意識調査の資料でございます。調査項目に関する基本的な考え方につきましては、基本的には、経年を取っているものは実施するという形で考えておりますが、今回の調査においては、何点か変更したい点を事務局で考えております。そちらは、資料4でご説明させていただきます。

赤字が、前回調査から変更したいと検討している項目でございます。

～令和5年度男女平等に関する台東区民意識調査（案）の内容について説明～

事務局（人権・多様性推進課長） 以上が、現状で事務局が検討している内容でございます。今、ごく簡単に説明しましたが、皆様のご意見を伺いたいと考えておりますので、大変期間が短くて申し訳ございませんが、何かご意見がありましたら、この場、もしくはご帰宅後、資料をご覧いただき、今月中に事務局までご連絡いただければと思います。

また、説明が漏れてしまいました。以前の会議にて、皆川副会長から、困難女性支援

法が成立したので、計画をつくらなければならない。努力という規定でも、市区町村でもつくらなくてはいけないというお話がありました。区で調整した結果、こちらの男女平等推進行動計画はばたきプラン21に内包させるというような形で、進めていくという話になっておりますので、それも併せてご報告させていただきます。

つくり方については、現在は、女性活躍推進計画に関する部分が基本目標2になっており、配偶者暴力防止基本計画に関しては、基本目標3施策(7)で抱合しておりますが、この計画に内包させるという形で、今、区では決定しているところでございます。

平沢会長 今のご説明だと、前回調査の調査票がここに出ている。来年度、5月に実施する調査については、まだ、調査票そのものはできていないということですか。

事務局(人権・多様性推進課長) これから作成します。今、事務局では、このような形で考えているというものでございます。今、ご説明した内容について、それを踏まえて、何かご意見があればという形のお願いでございます。

平沢会長 調査票ができた段階で、委員の皆さんにご意見を伺う時間は、この会議の場はないですね。そうすると、どこかの時点で皆さんにお示しするのか、それとも、今日の段階で出た意見を反映させるということで進めるのか。これはどちらになりますか。

事務局(人権・多様性推進課長) できれば、31日までに意見をいただいて、それで、進めたいと思っています。

平沢会長 つまり、前回の調査票と、今日配っていただいた一覧表で、改訂すべき点が赤で書いてある。この二つを見て、推測しながら、どうかというご意見をいただきたいということで良いですか。

事務局(人権・多様性推進課長) はい。

平沢会長 副会長さん、いかがですか。具体的に出てきた調査票を見てご意見言いたいのではないですか。

皆川副会長 それはあります。今、一つ思っていることがありますして、ワーク・ライフ・バランスについて、回答してくださる方の仕事場が区内にあるかということと、通勤時間がどれぐらいかということを知りたいと思っています。

事務局(人権・多様性推進課長) 30年度の調査票では、最後のページに、個人について聞く項目がありますので、そこに追加するような形で。

皆川副会長 それでも可能であればですが。最後のページというのは、いわゆる、フェイスシートと言われるものですね。このような問いの場合、どういう趣旨で聞くのかとい

うことが分かったほうが良い可能性もあります。なぜ通勤時間を伺うかという、ワーク・ライフ・バランスについては、非常に関係のあることだからです。台東区民の方は、通勤時間が短い可能性が高いと考えていて、それがほかの区と違う大きな特徴としてあるかもしれません。それを知りたいと考えています。通勤時間については、他の調査データもありますが、市区町村レベルまで取るという例があまりないので、それを調べてほしいです。職住近接というのは魅力になります。台東区がそういうところだと分かれば、地域の魅力として打ち出せるものです。ですから、それが知りたいです。意識調査ではありませんが、通勤時間は意識を伺うものではありません。ですが、ワーク・ライフ・バランスの項目に入れば、個人情報ではないですが、なぜそれをお伺いするのかという趣旨が明らかになりますから、お考えいただければと思います。

平沢会長 フェイスシートではなくてワーク・ライフ・バランスのところに入れたらどうかというご要望があったということで、それは考慮してくださるということでしょうか。

事務局（人権・多様性推進課長） 入れるとして、最後のフェイスシートなのか、もっと前の項目にするのか、質問を入れる場所は、検討させていただきます。

平沢会長 今の段階で、両者を見比べて、何かほかにご意見がありますでしょうか。

大西委員 今のお話で、男女ともに就業の形態が、正規雇用なのか、あるいはパートタイムなのか、そこも聞くことは、あまり意味がないですか。もし意味があるのなら、それらも含めたらどうかと思いました。分けて聞けば、何かの資料になるのかなど。その聞き方はお任せします。

平沢会長 フェイスシートを、今のようなことを含めて、少し膨らませたほうが良いような気がしますね。それは事務局のほうで、お考えいただいて。

大西委員 それと、意識調査の対象は無作為に選ぶということですが、平成30年の場合、例えば、回収率は、男女別に見るとどのような結果でしょうか。

事務局（人権・多様性推進課長） 30年度は、調査対象者数が1,800で、男女で900ずつです。女性の有効回収数が400。男性が295です。有効回収率の合計は全体で40.2%です。前々回の平成25年度の調査の有効回収率は45%くらいでした。台東区民の数は、5年前よりも増えております。標本数が多い方が、データとしては当然有効なので、今回は、男女100ずつ増やして、1,800から2,000にすることと、今までは郵送回答のみでしたが、今回はウェブでも回答できるようにして、少しでも回答

率を上げるような努力をしていくつもりです。

皆川副会長 郵送調査で40%というのは、そこまで低くはないですが、もちろん多いほうがいいですね。どのような人が回答してきたかということも、大変重要な情報です。一般に、回収率は、女性のほうが高いです。また、年齢層が高くなると回答率が高くなる傾向もあります。

事務局（人権・多様性推進課長） そのようなことがありますので、ウェブであれば若い方が回答しやすいのではないかと、今回取り入れたところでございます。

皆川副会長 調査結果を読むときには、偏りというのを見て考えるということも、また必要となります。

植武委員 インド、中国、台湾など外国人の永住者もいますが、外国語の対応は。

事務局（人権・多様性推進課長） 一応、やさしい日本語を入れようかという考えもあります。当然、無作為なので、名前で分かる場合、分からない場合もありますが、名前で分かる場合については、やさしい日本語を入れる形で、今、調整しています。

皆川副会長 無作為抽出というのは、何を基にするのでしょうか。

事務局（人権・多様性推進課長） 台東区に住民登録のある方ですね。

皆川副会長 住民基本台帳からとなると、外国の方の結果がどう違うかというのを知りたいという話になるならば、フェイスシートに入れたほうが良いのではないのでしょうか。クロス集計を、もう少し積極的に活用しても良いのではないかと思います。先ほど、通勤時間について申し上げましたが、通勤時間の長い人と短い人で、いろいろと違っている可能性があります。そのような分析をしたらどうかと。私がここに加わらせていただいて、検討したものではありません。なので、そういうことも考えてほしいと思います。

事務局（人権・多様性推進課長） ご意見をいただいたところは、検討させていただければと思います。

平沢会長 統計処理は、委託する部分がありますか。行政内部ですか。

事務局（男女平等推進プラザ長） 完全に委託で行います。

皆川副会長 調査会社に委託するでしょう。

平沢会長 今、情報の問題がマスコミでもよく話題になります。第三者に委託する場合は、その辺りのことは本当に気をつけてやってもらいたいと思います。

事務局（人権・多様性推進課長） そうですね。重々注意してやります。

皆川副会長 もうひとつ申し上げるなら、今、データアーカイブを進めようという取り組みがあります。オープンデータとして、個人情報を除いた形の個票などを、例えば東京大学社会科学研究所などに寄託することができます。申請が必要ですが、そうすると、再分析が可能になります。調べていないので、男女平等に関する区民意識調査といったものが、寄託されているケースはどれくらいあるのかは分かりませんが、有効に活用することができると思うので、そういうこともお考えいただきたいなと思います。

平沢会長 調査票ができるのはいつ頃ですか。

事務局（男女平等推進プラザ長） 5月に調査が始まりますので、4月の前半頃には固めたいと思っております。

平沢会長 委員の皆さんのご意見を聞くのが今月いっぱい。出来た調査票を見てもらう時間はないですね。せめて、副会長さんはいろいろな希望を持っていらっしゃると思うので、可能なら見てもらったほうが良いのではと私は思っていますが、どうですか。

事務局（人権・多様性推進課長） 出来上がるタイミングにもよると思いますが、もう、この形で送ります、というようになってしまうのかなと思います。今のうちに、例えば、このような質問を加えてくださいといただいたほうが、検討しやすいのかなと思います。基本的にはこの調査票の形は変えないと思うので、逆に、この部分のところをこういうふうな形で検討してくださいと言っていたほうが、まだ、ご要望に添えないものかと検討し、調査ができる可能性が高いと思います。

皆川副会長 ワーディングもありますよね。

平沢会長 副会長さん、少なくともこの赤字の部分について、どういう形で組み込むかという具体的な提案と、ワーディングについても伝えたほうがきっといいと思います。

小嶋委員 フリーコメントを取るということは、選択肢としてあるのでしょうか。一つ考えたのは、台東区の男女平等に関する取組について、あなたのご意見を教えてくださいというようなもの。もう一つは、男女平等に関して、生活の上で感じていることを自由にご記入くださいという質問を追加することは可能でしょうか。

事務局（男女平等推進プラザ長） 今の段階では、ご意見として伺って、また検討して入れることは可能になります。

小嶋委員 単純な回答数の件数で集計するような質問ばかりで、これはこれで非常に有効な手段だと思いますが、男女平等に関する意識を問うという点や、回答自体も多種多様になってきている点を考えると、自由な意見を募集するという欄が一つ設けられているこ

とで、聞こうとする姿勢を示すことと、回答する方の伝えたいことを集めるということができるのではないかなと思います。フリーコメントの分析方法も、今はAIで機械的にできる、無料のものも多くありますので、いわゆるビッグデータ分析みたいな方法で、どういうキーワードがよく使われているのか、ポジティブな回答とネガティブな回答を分けるとか、そういったことを一度試みてみるのはいかがでしょうかという意見です。

皆川副会長 良いと思います。質問を見ると、台東区に限定して聞いているものもありますが、限定していない、一般的に聞いている部分が多いです。「台東区の」と絞った形で聞くことは意味があると思います。小嶋さんがおっしゃったように、自由に感想を書きいただいても、テキストマイニングで、キーワードを出すとか、そういう分析ができるようになってきていますから、使っていただいたら良いのではないかと思います。追加の分析となった場合、予算との関係が出てくるかもしれませんが、何年かに1度しかやらない調査のせっきくの機会なので。本当は毎年やってほしいですが、ぜひ、よい調査になるようにと思っていますので、よろしくお願いします。自由回答、私は良いと思います。

平沢会長 そろそろ考えていい手法かなと思いますね。自由記述も、うまく入れてほしいというご希望ですね。これも、ぜひ勘案しましょう。

事務局（人権・多様性推進課長） 検討させていただきます。

長谷川委員 性の多様性の質問のところ、夫婦別姓とか、同性婚に関する意識について入れるというのは、そぐわないでしょうか。

事務局（人権・多様性推進課長） 夫婦別姓については追加します。同性婚については、区でも東京都のパートナーシップ制度を準用するという形をとってしまして、同性婚について、区はまだ明確に進んでいないところはあります。その辺りの意識はどうかというのを聞いてみるというのは、検討させていただければと思います。

皆川副会長 パートナーシップか、同性婚かみたいな聞き方でも良いのかもしれません。台東区は独自のパートナーシップ制度がないので、ニーズがあるかどうかとか、台東区民はどう思っているのかが分かれば、台東区としてやる価値があるかが分かります。必要とする意見が多くあって、必要だとなれば、政策の根拠になるでしょうから。

平沢会長 考えていい項目ではあると、私は思います。意識を聞いて、把握しておくことは無駄なことではないですね。このテーマは、いろいろと微妙な問題ははらんでいますが、やはり入れておいていいのではないかなと、私は思います。

事務局（人権・多様性推進課長） 検討させていただきたいと思います。

長谷川委員 これからは避けて通れない感じがします。あまり先走ってしまうのも良くないのかなとは思いますが。

事務局（人権・多様性推進課長） 性的マイノリティーの方の割合は、一般的には、8%とか、調査によっては10%ということもあります。日本で暮らす外国人の割合が、大体8%ぐらいです。区内でも、外国人を多く見かけるようになったと思うぐらいに、性的マイノリティーの方がいるのかなと考えると、やはり避けて通れないというのが、時代の動きかなと思います。

長谷川委員 私も、そういう動きというものを感じたので、皆さんはどうなのかなというところが気になりました。

事務局（人権・多様性推進課長） クロス集計してみると、例えば、若い方とご高齢の方の意識の違いが分かるのかもしれないですし、男女でも違いがあるのかもしれないですし、そういったことが結果で出てくるかもしれないですね。

皆川副会長 女性のほうが寛容です。今まで出てきている調査データでいうと。

平沢会長 私もそう思います。情緒的な部分は、まだいろいろ複雑なものはないかと思いますが、男性だって頭の中では分かっていると思います。でも、今、価値観が変わっていく時期でもありますし、ご指摘のテーマは、聞いて無駄はないと思います。どう聞くかというのは、ぜひ、一考しましょう。ありがとうございます。

池谷委員 私のほうでも、もう少し情報を整理してから、後ほど事務局にお伝えしようとは思いますが、ほかの自治体が、令和に入って以降この年度末ぐらいまでに行っている調査の中には、コロナの影響を聞いているものも入ってきています。例えば、徳島市の男女共同参画に関する市民意識調査では、自由記述もありますし、コロナの影響をどのように受けているかということを知りたいと思っています。平成30年からの社会状況の違いというものを、調査票に反映はするべきだろうというように思いました。また、情報を整理してお届けしたいと思っています。

平沢会長 今のお話は、事務局のほうでも何かの形で把握したほうが良いのではと思います。在宅時間が多くなって、夫婦げんかが多くなったとか、そういった話もありますし。だんだんと膨らんでしまい申し訳ないですが、ぜひ、協力してやりましょう。

他に何かありますか。副会長さん、調査票については、一度事務局のほうと調整して、見てもらったほうがいいですね。

皆川副会長 そうですね。時間を取ったほうがいいのかと思います。私も、久しぶりに

見まして、今は全てを丁寧に見ている時間がないので、また丁寧に見てからというようにしたいと思います。

平沢会長 そうしましょう。たくさん情報を持っていらっしゃるから、うまく生かしていただいて。

事務局（人権・多様性推進課長） 委員の皆様の意見を踏まえて、検討させていただきます。

大西委員 一つよろしいですか。13ページの人権問題で、セクシュアル・ハラスメントという項目がありますが、その変化形として、パワハラということもあるのではないかと思います。仕事上で、女性なのか男性なのか分かりませんが、上下の関係を利用して、パワハラのほうに向かうというようなことも、出てくるのかなという気がしました。仕事においてとか、昇進においてとか、妨害を受けたり、昇進を遅くしたりとかいったことにも触れてもよいような気もしましたが、どうでしょうか。改まってパワハラとして聞く必要はないと思います。仕事上において、パワハラというのは日常茶飯事だったりすることもありますから、私自身もパワハラを受けた経験があります。ですからそれらも聞いてもらうのはどうかという気がしました。

事務局（人権・多様性推進課長） 問16に、近いことは書いてありますが、職場や、学校、何とかにおいてという形の文言になるようにということですね。

皆川副会長 ですが、これはセクシュアル・ハラスメントについての質問で、選択肢の1から8までどれが当てはまると思いますかと聞いているものです。次のページの問18も、どれがDVだと思うかという設問になっています。パワーハラスメントについても、同じように、どれが当てはまると思うかという形で、聞いても良いのではないのでしょうか。パワーハラスメントの防止法もありますので。

植武委員 今は、モラルハラスメント、マタニティハラスメント、など様々なハラスメントがあります。全部聞くとなると。

事務局（人権・多様性推進課長） 設問の数や内容をどうするかということもありますので、その辺りは整理させていただきます。

宮地委員 新しい質問を設けるということではなくて、30年の調査のときと同じ設問で、選択肢を増やすというようなのは可能になるのでしょうか。

事務局（人権・多様性推進課長） どこかの項目の選択肢に、委員の方のご意見の趣旨を入れるというのは、やり方としてはあるのかなと思います。例えば、大きい項目で聞いて

たほうがいいというのも、当然あると思います。そこは検討しないといけないと思います。

宮地委員 今、思っていたのは、問10の「育児や介護と仕事の両立を推進するために」という、複数選択できる質問に、選択肢が1から12までありますが、ぱっと見たところ、割と正社員を前提にしているのかなという印象を受けました。最近、同一労働同一賃金とか、均等処遇とか言われています。パートの待遇が上がれば、短時間の働き方を選びたいと選択する人もいるのかなと思いました。今、不本意非正規というのは減っていて、自分の都合のいい時間で働けるという理由で、パートを選ぶ人も増えてきている話もありますので。ただし待遇が悪い、待遇がよくなればという回答もあり得るのかなと思って、ご質問しました。また31日までに。

平沢会長 いろいろな意見が出たほうが作りやすいですね。ぜひ何かあったらお願いします。今、一気にはなかなか出ないでしょうから。

事務局（人権・多様性推進課長） 取りあえずは、31日までという形で、様々なご意見をいただければと思います。

平沢会長 これを持ち帰って、読み返していただいて、こういうことが必要ではないかという意見は、ぜひ事務局のほうに投げ返してもらったほうがいいですね。副会長さんによく点検してもらって、そういった形で作るのでもいいでしょうか。

皆川副会長 問6に、正規か非正規か、パート・アルバイトかという質問は既にあり、次の問6-1に、それを受けて性差別について質問する形にはなっているので、そこを利用してクロス集計をすると、多少は関係しているのかどうかというデータが出ますよね。今まで、ほとんどクロス集計をやっていないでしょうから、今度はもっとやったらいいかでしょうかと思います。

事務局（人権・多様性推進課長） 5年に1回の調査ですから、データは有効に活用しなければならぬと思っております。

平沢会長 いずれにしても、今日この場だけでは出て来ない意見もあるでしょうから、今月いっぱい意見は寄せてもいいということですので、委員の皆さんには、これをお持ち帰りになって、こういうことはぜひという趣旨だけでもお寄せいただければと思います。

皆川副会長 ワーディングなどは同じにしておかないといけなかったりするもので、動かさないところも多いですけどね。

平沢会長 新しく追加したものや趣旨を少し変えようというところは別として、ワーディングはあまり変えないほうがいいですね。その辺りは副会長さんに頑張ってください。

では、今この場で何かご意見なければ、委員さん方には今月いっぱいにご意見をいただくと。それを踏まえて調整をするということで、課長、どうですか。

事務局（人権・多様性推進課長） はい、ありがとうございます。お願いします。

平沢会長 ぜひ、委員の皆さんもご自宅へお持ち帰りになって、前回のもの、それから改訂を目指して赤字で書かれたものを見て、ご意見があった場合には、直接言っても良いとのことなので、事務局にお寄せくださいませ。よろしくお願ひしたいと思ひます。

今日のところは、以上かなと思ひますが、会場の皆様、オンラインの皆様、何か他にござひますか。

（なし）

平沢会長 では、時間は少し早ひですが、ここからはその他の議題に行きたいと思ひます。よろしいでしょうか。

（異議なし）

平沢会長 では、その他の意識調査については、今、話合ひをいたしました。委員の皆様から、この場で言っておきたいことは、何かござひますか。

皆川副会長 今、渋谷区のトイレのことが話題になっています。皆さん頷かれていますので、ご存じのようですが、課長はご存知ですか。

事務局（人権・多様性推進課長） 女性用のトイレがないという。

皆川副会長 そうです。渋谷区は女性用のトイレを無くしたつもりはないと言ひますが、それは通らない話です。そもそもが、女性のほうが時間がかかるので、災害時のトイレの個室数は男性用1に対して女性用3は必要という、スフィア基準といわれるものがあつたりもします。そういうことを分かっているようには思ひません。共用トイレを造つて、男性用の小便器を足した形にしたので、「女性用トイレ無くした」という話になって、大問題になっている。あれは日本財団のお金で造っています。渋谷区を中心にトイレを新しく、いい場所にしましょうという、そのコンセプト自体はよかつたのですが、計画するプロセスにおいて、しっかりと性別のニーズを聞いたのかという、恐らくしっかりとやっていないのではないかと思ひます。デザインは、デザイナーに頼んで、ファッションブルな感じになっていますが。トイレを考へるとき、安全や危険というのは、基本中の基本です。渋谷区はダイバーシティと打ち出して売っていますが、トイレに関しても、その基本を聞かずに、ダイバーシティということで共同トイレを作つてしまつて、その程度ですよということがあらわになつてしまつた事例と言わざるを得ないところがあります。台

東区も観光が重要な資源になっています。少し拝見しましたが、いわゆる公衆トイレだけでなく、いろいろなところが「うちのトイレを貸してもいいですよ」みたいなことをおやりになっています。それはそれで良いのかなと思いますが、公衆トイレについて、そういうことを考えていくというような動きはありますか。

事務局（人権・多様性推進課長） 台東区では、たしか今、名称は変えたと思いますが、だれでもトイレというのを構想として造っていました。身体障害者の方なども使えたり、オストメイトとか、おむつ替えの台などもある、そういった形の計画はありましたが、そこからは、発展したというのは聞いていないですね。

皆川副会長 そうなんですね。だれでもトイレだけになってしまうとか、そういうことはやめてほしいなと思います。

事務局（人権・多様性推進課長） 恐らくそれはないと思います。今は、「男性用と女性用とだれでも」というような形になっていますから。

皆川副会長 そのようなことが気になり、台東区はどうなのかなと思いましたので、伺いました。

平沢会長 一橋大のトイレは先進的ですよ。私も今、細かい事は忘れましたが、かなり先進的なトイレを造った。それで学生が戸惑ったようでしたが、最近は少し慣れてきたみたいです。興味深い取り組みかなと思います。

皆川副会長 だれでもトイレだけにしてしまうのは、駄目ですよ。

平沢会長 そうですね。ただ、だれでもトイレは、大分普及してきたようですね。

事務局（人権・多様性推進課長） 台東区は、例えばこのフロアにもだれでもトイレが1個ありますが、大体どの公共施設でもフロアに1個とか、建物に1個2個とかは、規模にもよりますが造られていますね。

大西委員 私は、今日初めて聞きました。男女誰が使ってもいいんですね。

事務局（人権・多様性推進課長） 多目的トイレという言い方をする場合もあります。このフロアでいうと、エレベーターの向かいに、男性用と女性用のトイレの隣に1個あります。車椅子でも入れるような、少し広い個室です。

大西委員 公共施設にはできているけど、民間の、例えばデパートなどはどうですか。

事務局（人権・多様性推進課長） 上野の広小路にあるデパートには、この前行きましたが、男女に分かれる入口の少し手前にありました。車椅子でも入れるよう、入口が押しボタン式になっている場合が多いですね。

平沢会長 この建物は全フロアありますか。

事務局（人権・多様性推進課長） 1階は公園側にあります。

平沢会長 2階・3階はあっておかしくないですよ。5階は事務局だけだからないかもしれないですね。

事務局（人権・多様性推進課長） そうですね。一般の方が多く使われるところは恐らくあると思いますが、確かに5階はないかもしれません。

大西委員 それは女性が安心して利用できるような設備にはなっているのでしょうか。

事務局（人権・多様性推進課長） 女性というよりも、皆さんが使えるということです。身体の障害があっても、お子さん連れでも、誰でもというところなので。ただ、例えば便座の横にボタンがあって、急変した時に押せば、館内の管理している人が来るとか、そういう形にはなっておりますね。

大西委員 トイレで襲われるということが起きた場合に、すぐにその緊急ボタンを押してどこかの警備室につながるとか、そういうようなことにはなっていないわけですよ。

事務局（人権・多様性推進課長） それはだれでもトイレだけではなくて、普通の個室でも起こりえます。大体の公共施設には、体調が悪い、急変したときのため、座る場所の横に緊急ボタンが付いています。たしか男性用にも付いています。ボタンは事務室関係につながりますので、係員が連携して、どうしましたかとお声掛けする形になっています。

大西委員 私、仕事で、台東区内を歩いていて、時々、公園などで、トイレを使わせてもらっています。男性は、公園のトイレを恐怖心なしで使えると思いますが、女性は人のいないトイレを一人で使うというのは、不安があるだろうと、いつも思います。

事務局（人権・多様性推進課長） 公園にはほぼトイレがありますので、区の公園管理の部署でも、改修の際には地域の方の意見も聞きながら、安全性なども含めて行っています。また、汚くて使いたくないという意見もあるので、例えば日に何回とか、こまめに清掃を入れているということは聞いています。

大西委員 私から見ると、公園のトイレは、汚い・危険・暗い、3Kが揃っているなどと思います。男性の場合はある程度我慢できると思ったらおかしいですが、女性と生理的に機能も違うので、我慢できる時間が長いと思いますが、女性が緊急に催したときに、あの公園のトイレが安心・安全に使えるかという、少し疑問に思います。

事務局（人権・多様性推進課長） ひとつの例ですが、台東区には、平賀源内の墓所があります。区内北部にあるトイレを改築した際は、エレキテルをモチーフに、汚いとか危

険じゃないイメージになるよう、手を入れる時には、そのような工夫は少しずつしています。ただ、それが全部というのはまだまだかなという感じではあります。

大西委員 台東区の公園のトイレも決して褒められるものではないなという感じはしています。

植武委員 海外に比べたら日本のトイレはきれいです。掃除もちゃんとしています。区の公園課とかが管理していますので。

大西委員 台東区に6年住んでいます。台東区は、高齢者に対しても優しい施策をいろいろと提供してくれている、いい区だと私は思っています。いいところが多くて住んでよかったなと思っていますが、もっともっといろいろな面でよくなってもらいたいと思っていますので、そういったところもお伝えしたいなと思いました。

平沢会長 では、最後に課長から。

事務局（人権・多様性推進課長） 今回、チラシを机の上に置かせていただきました。今月18日に、はばたき21相談室で行うイベントでございますので、もしよろしければ、興味のある方がいらっしゃれば、ご参加の方をお願いいたします。

また、次回の「はばたき21」推進会議ですが、先ほど年間スケジュールで申しましたとおり、次回は6月を予定しておりますので、よろしくをお願いいたします。

平沢会長 ありがとうございます。では、本日はこれをもって閉会いたします。どうか今後ともよろしくをお願いいたします。ありがとうございました。

（午後2時16分 閉会）